

サンヒルきよたけ・グループホーム太陽の丘 ～職場環境要件～

令和7年7月29日更新

	項目	当施設の取組
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針・その実現のための施策・仕組みなどの明確化	法人理念、各事業所毎の理念やケア方針を基に、各事業所、各部署ごとに年度目標を立案し上で、各部署毎の事業計画を立案している。
	事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	毎年、同法人内の介護事業所共同で福祉のしごと就職面接会への参加している。また、事業所毎の人事ローテーションや、他事業所への研修精度を行なっている。（介護職員交換異動研修）
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	研修機関での初任者・実務者研修を働きながら受講できるようにしている。基本給の中に年齢給を設定している。その人に合った業務ができるように「介護助手」を配置している。
	職業体験の受入れや地域行事への参加や主権等による職業魅力度向上の取組の実施	地域の地区行事の参加、民生児童委員の会議への参加、まちづくり協議会主催の活動への参加、ボランティア連絡協議会等と共同で行事を企画・運営している。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する略受吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	認知症関連資格の研修や全国老人保健協会主催の修了書等が交付される研修に毎年、研修毎に1名以上参加している。長期受講研修、実習受入、産育休の代替職員は派遣会社等と契約し、時期や業務内容（介護助手）など派遣や有期雇用している。
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	施設、各部署、各自の目標設定に応じて施設から業務として研修の受講を行っている。資格（取得）により賃金表が決定する賃金規定と人事考課規定になっている。
働き方支援の・多様な	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	同法人の病院内に24時間の託児所があり利用できる。育児休暇規定があり、所定労働時間の短縮より就業している職員もいる。
	職員の事情等に状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	職員に応じた勤務シフトや時間勤務を設定している。業務内容、意欲、目標を確認した上で、正規職員への転換している。
	有給休暇が取得しやすい環境の整備	有給取得推進
	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	コンプライアンス小委員会を設置し、メンタルヘルス等の職員の相談窓口を設置できる体制としている。
身体の不健康を改善する	介護職員の身体への負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器導入及び研修等による腰痛対策の実施	中長期計画で介護ロボットや機器を導入している。2019年度、2020年度に介護ロボット導入支援事業より、「リジョーネplus」を2台導入している。また、当施設の理学療法士・作業療法士が介護技術勉強会（移乗動作等）を実施し、腰痛軽減対策の実施を行っている。
生産性向上のための業務改善の取組	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の削減	「ほのぼのnext」を導入し、タブレット端末を活用し、入所・通所・認知症対応型にて記録システムのICT活用を行い業務量の軽減を図っている。職員がインカムを導入し所在等の確認や連絡等もスムーズに行うことができる。また、眠りScanを40台導入しており、利用者の状態を確認しながら対応できることで業務効率を図っている。
	高齢者の活躍（居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供）等による役割分担の明確化	食事の配膳・下膳、居室やフロア等の掃除など「介護助手」を導入して、間接的介護業務の役割分担を行っている。また、送迎運転業務や利用者の荷物運びを行い、シルバー人材センター派遣や有期雇用を行い、間接的に介入できるように役割分担を行っている。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	各部署に業務マニュアルを設置している。記録や報告様式に関しては、「ほのぼのnext」を導入し、タブレット端末やPCでに記録や申し送りを行うことで作業負担の軽減や情報共有を図っている。
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	月に1回、部署内での会議があり、その中で上がった課題は全体会議にて上げられる流れとなっている。ミーティングではグループワークの時間を設定し、課題解決に全員で取り組んでいる。
	地域包括ケアの一員としてモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	地域の支援学校が定期的に来設してくれている。地域の地区、民生児童委員、まちづくり推進委員会、ボランティア連絡協議会等と共同で行事を企画。運営している。年に1回秋祭りを開催しており、地域住民の方や児童も参加されている。